

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年12月20日 (2012.12.20)

【公開番号】特開2012-65652(P2012-65652A)

【公開日】平成24年4月5日 (2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2011-214253(P2011-214253)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 5/0784 (2010.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 1 2 N 5/00 2 0 2 M

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月24日 (2012.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成熟樹状細胞の製造方法であって、

( 1 ) CD11c<sup>+</sup>未成熟樹状細胞にゲノム複製能を持つセンダイウイルスベクターを接触させる工程、または

( 2 ) CD34<sup>+</sup>細胞にゲノム複製能を持つセンダイウイルスベクターを接触させ、該細胞をCD11c<sup>+</sup>未成熟樹状細胞に分化させる工程、を含み、  
該センダイウイルスベクターにより該未成熟樹状細胞の成熟化が促進される方法。

【請求項 2】

該センダイウイルスベクターを、多重感染度 (MOI) を少なくとも 1 で該細胞に接触させる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

該センダイウイルスが下記 ( 1 ) から ( 4 ) からなる群より選択される、請求項 1 または 2 に記載の方法。

( 1 ) 実施例 A の実験 2 に記載のSeV-GFP、

( 2 ) ( 1 ) からGFP遺伝子を除去したウイルス、

( 3 ) ( 2 ) に所望の外來遺伝子を導入したウイルス、

( 4 ) ( 1 ) ~ ( 3 ) においてセンダイウイルス遺伝子を欠失および/または変異させたウイルス。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれかに記載の方法により製造された、該ベクターを保持し該ベクターが発現する成熟樹状細胞。

【請求項 5】

請求項 2 に記載の方法により製造された細胞である、請求項 4 に記載の細胞。

【請求項 6】

請求項 3 に記載の方法により製造された細胞である、請求項 4 に記載の細胞。

【請求項 7】

請求項 4 から 6 のいずれかに記載の樹状細胞を含む、腫瘍増殖抑制剤。